

令和 7 年度事業報告書

一般社団法人 愛知県自家用自動車協会

令和7年度事業報告

令和7年度は、米国の追加関税や中東情勢の緊張の高まりを背景に、エネルギー価格や原材料価格が高騰し、製造業全般に大きな負担が強いられた1年となりました。こうした状況下にあっても、国内経済は賃金の上昇や雇用環境の改善を受けて緩やかな回復基調を示しましたが、物価上昇や人手不足といった課題は依然として顕在化しており、将来が見通せない状況となっています。

自動車業界では、半導体や電子部品の供給制約により生産調整が続いたほか車両価格の高騰などの影響もあり、昨年度の国内新車販売は453万3782台となり、登録車の販売台数は284万5,316台（前年度比－3.5パーセント）にとどまりました。

車庫調査事業においては、このような状況を受け、自動車保管場所現地調査（車庫調査）の件数は、62万6722件で、前年度を3,694件下回りました。依然として自動車業界を取り巻く環境は厳しいものの、令和8年度は中盤以降に主力車種のモデルチェンジが予定されているとのことであり、市場の活発化と販売促進に期待したいところです。

愛知県における交通事故死者数は長年にわたり全国最多の水準が続いています。

中でも歩行者・自転車利用者、高齢者が道路を横断中に事故に遭う割合が高く、交差点での事故も多発しています。自家用車の利用が生活に密接に結びつく本県において、交通安全の確保は、行政・地域住民・関連団体が一体となって取り組むべき最重要テーマです。

交通安全対策事業では、こうした状況を真摯に受け止め、機関誌やラジオ広報を活用し、交通事故防止意識の高揚や関係団体と連携した各種の交通安全啓発活動などの取り組みを進めてまいりました。

自動車ユーザーに対するサービス事業では、自動車共済業務においては、昨今の急激な物価高騰や修理費の上昇を起因とする共済金支払額増加を踏まえ、安定した共済を提供する目的で令和8年1月に掛金改定を行いました。大手損保保険会社でも同様に掛金改定を行っており、自動車保険（共済）を取り巻く環境は厳しい情勢を迎えています。その一方、損害保険会社では自賠責代理店整理、統廃合を実施しており、その影響から中部共済の代理店に移行する事案が増加し、3年計画の新規代理店開拓目標も大幅に達成するなど自賠責共済は順調に推移しました。

また、ETCカード共同精算事業では、割引制度、料金体系などの変更予定が公表されていますが、現状ではETCシステム見直しが直近の大きな課題であり、情報を的確に捉えてETCカード利用組合員に提供してまいりました。

以下、令和7年度の事業活動について報告いたします。

第1章 総務関係

第1 会議

協会が主催し又は関与した主要な会議は次のとおり

1 協会運営に係る会議

会議名	開催日	開催状況等	内 容（議案）
監事会	令和7年 5月16日	自動車会館	令和6年度 理事会運営、経理処理等の監査
決算理事会	6月3日	自動車会館	令和6年度 決算総会上程議案の審議
決算総会	6月20日	サイプレス ガーデンホテル	令和6年度 決算関連事業報告 ・収支決算報告 ・公益目的支出計画実施報告
上半期理事会	11月20日	自動車会館	令和7年度 上半期事業報告、収支報告
予算理事会	令和8年 3月6日	自動車会館	令和7年度 予算総会上程議案の審議
予算総会	3月27日	サイプレス ガーデンホテル	令和8年度 事業計画、収支予算、会費額 車庫調査事業における調査単価

決算総会



令和7年6月20日 サイプレスガーデンホテル

2 協会業務推進に係る会議

会議名	開催日	開催状況等	内 容
新任調査員 研修会	令和 7 年 4 月 1・2 日	自動車会館	訓育、実務教養、事故防止
親和会総会	4 月 24 日	自動車会館	令和 6 年度収支報告 令和 6 年度 事業計画、役員選任
調査員会議	4 月 24 日	自動車会館	伝達、教養、事故防止、健康管理
緊急調査員会議	6 月 13 日 7 月 4 日	自動車会館	事故防止・熱中症対策
事務長会議	6 月 27 日	自動車会館	伝達、実務教養、事故防止
三河地区 協会組合合同 調査員会議	10 月 30 日 令和 8 年 2 月 20 日	宝飯豊川組合 宝飯豊川組合	伝達、永年勤続表彰、実務教養 事故防止
尾張・名古屋地区 協会組合合同 調査員会議	10 月 31 日 令和 8 年 2 月 19 日	自動車会館 自動車会館	伝達、永年勤続表彰、実務教養 事故防止
緊急調査員会議	12 月 12 日	自動車会館	事故防止・実務教養
事務局幹部会議	毎月定例	自動車会館	月間行事予定・各月業務運営の検討 衛生管理ほか

調査員会議



令和 7 年 4 月 24 日開催 自動車会館会議室

3 協会事業推進に係る会議

主催者	開催日	開催場所	内 容
全国自家用自動車協会	令和 7 年 4 月 22 日 6 月 5 日 9 月 2 日 令和 8 年 3 月 5 日	書面決裁 アルカディア市ヶ谷 東京都トラック会館 東京都トラック会館	理事会 理事会、総会 専務理事会 理事会
中部自家用自動車協会 連合会	7 月 10 日	三重県	総会
中部自動車共済協同組合	令和 7 年 4 月 16 日 6 月 19 日 7 月 24 日 10 月 16 日 11 月 26 日 11 月 20 日 令和 8 年 2 月 19 日	自動車会館 自動車会館 自動車会館 自動車会館 自動車会館 自動車会館 自動車会館 自動車会館	運営委員会 総代会 運営委員会 運営委員会 掛金改定説明会 理事会 運営委員会
愛知県自家用自動車 事業協同組合	5 月 16 日 6 月 3 日 6 月 20 日 9 月 4 日 11 月 20 日	自動車会館 自動車会館 書面決裁 三重県 自動車会館	監事会・理事会 理事会 総会 5 県連絡会議 監事会・理事会

4 会員組合に係る会議等

会員組合名	開催日	開催場所	内容
刈谷自家用自動車組合	4月25日	刈谷商工会議所	総会
瀬戸自家用自動車組合	5月13日	愛知県陶磁器会館	総会
安城知立自家用自動車組合	5月22日	安城商工会館	総会
小牧自家用自動車組合	5月28日	小牧ホテル	総会
蒲郡自家用自動車組合	6月11日	ホテル竹島	総会
宝飯豊川自家用自動車組合	6月11日	豊川交通安全協会	総会
一宮自家用自動車組合	6月13日	尾西グリーンプラザ	総会
熱田自家用自動車組合	7月8日	熱田組合	総会
岡崎組合・尾北組合 書面決済			

5 協会と連携する関係団体に係る会議等

主催者	開催日	開催場所	内 容
愛知県交通安全 推進協議会	令和7年 4月23日	愛知県自治センター 三の丸庁舎	監事会・団体代表者会
	7月23日		監事会・団体代表者会
	10月10日		監事会・団体代表者会
	令和8年 2月17日		監事会・団体代表者会

愛知県交通安全協会	令和7年 6月26日 令和8年 3月27日	メルパルクホテル メルパルクホテル	定時評議員会 合同意見交換会
高速道路交通安全 推進協議会	6月24日	ルブラ王山	理事会・総会
愛知県自動車会議所	令和7年 6月12日 6月19日 12月5日 令和8年 3月10日 3月17日	自動車会館 名古屋観光ホテル 名古屋駅 自動車会館 自動車会館	専門委員会 総会 税改正要望活動 専門委員会 理事会
愛知県名古屋市 道路利用者会議	8月21日 10月23日	メルパルクホテル 福井商工会議所	総会 全国会議
二火会 (愛知運輸支局)	令和7年 4月8日 6月10日 10月14日 12月9日 令和8年 2月10日	愛知運輸支局 愛知運輸支局 愛知運輸支局 愛知運輸支局 愛知運輸支局	4月期定例会 6月期定例会 10月期定例会 12月期定例会 2月期定例会
愛知県自動車盗難 等防止協議会	令和7年 6月11日 11月22日 12月10日 令和8年 2月18日	損保会館 ポートメッセ名古屋 損保会館 アイリス愛知	幹事会 街頭活動 幹事会 総会
愛知県安全運転 管理協議会	6月27日	昭和警察署講堂	総会

第2 庶務的事項

高温環境下における職員の健康被害防止を目的とした熱中症予防対策と新たな事業への取り組みに関して補助を行った。

職員財務及び報告は関係法令の規定に沿い適正処理に努めた。

1 熱中症予防対策

車庫調査活動は高温環境下での業務となることが想定されたため、熱中症予防対策マニュアルを作成し、作業時間の調整を図るとともに職員に日よけ効果の高い作業帽・塩分チャージタブレットを供与した。

2 新たな事業への取り組み

女性職員の一人に行政書士免許取得のため講習を受講させるとともに受講代の補助を行った。

3 適正な経理処理

毎月、サカエ税理士法人の 遠島公認会計士・水野税理士による経理指導を受け、経理・財務事務を適正に処理した。

4 報告・公表

総会後の法令で規定されている各種届出等については、次のとおり実施した。

区 分	実 施 月 日	届 出 （報 告）先
税務手続き	令和7年5月30日	昭和税務署
所管庁へ届出	令和7年6月24日	愛知県（公益目的支出計画実施報告）
資産等公表	令和7年8月 1日	インターネット・ホームページ上で公表

5 福利・厚生

職員の健康管理を目的として、健康検診およびストレスチェックを実施し、健康検診費用の一部を補助した。また、調査員会議において、産業医が定期健康検診の結果を踏まえ、血圧や脂質異常に関する健康講話を行った。

第3 協会の組織・会員の状況

令和8年6月29日現在の組織及び会員の状況は、別表のとおりである。

第2章 業 務 関 係

第1 公益事業

「安全・安心」かつ「秩序ある車社会」の構築を目指した事業。

1 交通安全対策事業

愛知県・愛知県警察指導のもと、関係団体と連携した各種の交通安全対策事業を積極的に行い広く交通事故防止意識の高揚に努めた。

(1) 機関誌による交通事故防止意識の高揚

交通事故の実態や自家用自動車に関する動向などに焦点をあてた機関紙「あいち自家用車新聞」を毎月発行し、官公庁をはじめ会員（組合・協会）を通じて一般事業所やドライバー等に頒布し、交通事故防止意識の高揚を図った。

機 関 紙 名	目 的 ・ 内 容	発行部数	備 考
あいち 自家用車新聞	交通安全の普及、法令改正の周知、 道路情報、自動車運転に係る官公 庁からの要請事項等を迅速に提供	8,000 部	毎月 15 日発行 令和 7 年度 929 号～940 号

機関誌



「愛知自家用車新聞」 令和8年2月（第939）号

(2) ラジオスポット放送による交通安全広報

月別に予想される交通事故形態にスポットを当て、ラジオ放送によりドライバーに交通事故防止を直接呼びかけた。

東海ラジオ・CBC ラジオで週 2 回の呼びかけを実施した。

(毎週火曜日・木曜日の午後 1 時半頃の時間帯に放送)

放送月	放 送 内 容	回 数
令和 7 年 4 月	新生活がスタート 歩行者に気をつけ安全運転に努めましょう	9 回
5 月	自転車の飛び出しに注意 予防運転に努めてください	9 回
6 月	不正改造車を排除する運動 不正な改造は止めましょう	8 回
7 月	飲酒運転は悪質で危険な犯罪です 絶対にやめましょう	9 回
8 月	猛暑疲れによる事故が心配です 体調管理に努めましょう	8 回
9 月	日没が早まります 夕暮れ時は早目にライトを点灯しましょう	9 回
10 月	夕暮れ時は早期めに減速 歩行者事故を防ぎましょう	9 回
11 月	自転車が見えにくい夕暮れ時は早めのライト点灯で安全運転。	8 回
12 月	年末の増える交通量に注意し、安全運転で新年を迎えよう	9 回
令和 8 年 1 月	真冬の凍結路面に注意し、安全運転に努めましょう	9 回
2 月	朝晩の冷え込みで路面凍結が増えます。注意しましょう	8 回
3 月	春は事故の増加が心配されます 安全運転に心がけましょう	9 回

(3) 交通安全ポスターの作成配布

愛知県警察本部交通総務課の協力を得て、交通事故防止を呼びかける交通安全ポスターを作成し、会員組合に配布し組合事務所などに掲げ、広く交通事故防止を訴えた。

令和7年度は、県警交通安全大使に委嘱の須田亜香里さんをポスターモデルに起用し、

「安全のあかりを灯して」

と交通安全を呼びかけた。



(4) 交通安全街頭キャンペーンへの参加

ア 愛知県交通安全推進協議会関係

愛知県交通安全推進協議会会員として、協会の会員組合と連携し交通安全運動期間中の各種街頭活動を実施した。

実施項目		月日・場所	内 容	備 考
令和7年度 交通安全運動	春	4月6日～4月15日	・各季出発式 (愛知県議事堂前) ・街頭啓発活動 (愛知県庁前)	チラシ、啓発 物品配布
	夏	7月11日～7月20日		
	秋	9月21日～9月30日		
	年末	12月1日～12月10日		

イ 愛知県高速道路交通安全推進協議会関係

愛知県高速道路交通安全協議会会員として、高速道における交通安全街頭活動を実施した。

実施項目	実施月日	活 動 内 容
高速道路における 交通安全街頭 キャンペーン	4月11日	刈谷ハイウェイオアシス・岡崎SAにおいて、高速道路の利用者に直接交通事故防止の呼びかけを行った。 交通安全チラシ、パンフレット、啓発グッズなど配布した。
	7月18日	
	9月26日	
	12月5日	

ウ 交通死亡事故ゼロの日等の街頭交通監視

保管場所調査員及び協会幹部・職員等が毎月10日、20日、30日に県下各地域にて交通街頭監視活動を実施した。

エ 交通安全講習会における交通安全講話の実施

10月3日社会福祉法人瀬戸中央会に赴き、交通安全講話を行った。

(5) 日刊新聞掲載による交通事故防止等の啓発

関係団体と協賛し、毎日新聞・読売新聞に各期の交通安全運動、不正改造車を排除する運動を呼び掛ける啓発広告を掲載し広く注意喚起を図った。

広 告 内 容	掲載年月日 掲載紙	エリア	発行部数
春の全国交通安全運動	R7・4・6 読売新聞（朝刊） 毎日新聞（朝刊）	東海3県	12万6000部 5万4000部
不正改造車排除運動	R7・6・1 読売新聞（朝刊）	東海3県	12万6000部
秋の全国交通安全運動	R7・9・21 読売新聞（朝刊） 毎日新聞（朝刊）	東海3県	12万6000部 5万4000部
年末の交通安全県民運動	R7・12・1 読売新聞（朝刊） 毎日新聞（朝刊）	東海3県	12万6000部 5万4000部

(6) 模範となる優良運転者の育成

愛知県警察等に会員組合から推薦を受けた無事故無違反運転者10名の表彰の上申を行い自動車の模範運転者の育成に努めた。

上申した全員が警察本部長表彰・交通栄誉賞「緑十字銅賞」・中部管区警察局長表彰の各賞を受賞した。

（受賞者は別冊資料編のとおり）

表 彰 の 種 別	受 賞 人 数
愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会会長連名表彰	8人
交通栄誉賞 「緑十字銅賞」表彰	5人
中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長連名表彰	3人

(7) 会員組合（協会）の交通安全活動費を助成

各季の交通安全運動に際し、協会員19組合等に対して地域での交通安全活動経費の助成をすると共に協会長書簡を発信し活動を督励した。

2 車庫調査事業

一般競争入札（県内 2 分割）により愛知県から自動車保管場所調査委託を受け警察本部交通規制課の指導の下、適正に保管場所の現地調査活動を実施した。

また、現地調査に際しては、警察官 OB としての経験と専門性を生かし、交通安全広報および防犯広報にも積極的に取り組んだ。

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	対 前 年 比	
			増 減	増 減 率
車庫調査件数	626,722 件	630,416 件	－ 3,694 件	－ 0.6 %
OSS 申請件数	176,245 件	188,971 件	－ 12,726 件	－ 6.7%
(OSS 申請件数は、車庫調査件数内の電子申請件数である。)				

3 その他の公益事業

(1) 自動車運送秩序確立活動

愛知運輸支局の指導の下、無保険（無共済）車の一掃を図る街頭監視活動と無保険車一掃キャンペーンなど行った。

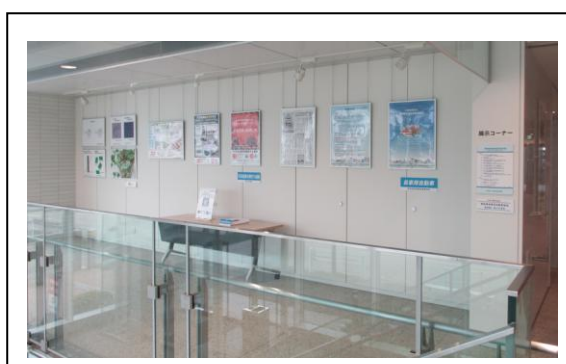
令和 7 年度は「誰かを傷つけてしまう前にちゃんと自賠責」をキャッチフレーズに、県下各地において延べ 92 回の監視活動を行い原動機付自転車および自動二輪車計 5,808 台をチェックし、中部運輸局長から任命された指導員が街頭調査活動として県下各地で保険標章不表示車両 301 台（指導率 5.2%）について所要の指導を行った。

(2) 輸送秩序維持を目的とした活動

「不正改造車を排除する運動」「自動車点検整備推進運動」「自動車登録等適正化推進運動」「大型車車輪脱落事故防止推進運動」に取り組み、自動車会館展示コーナーでの展示、機関誌への周知記事の掲載、ラジオ放送、ポスター等を活用した啓発運動を実施した。



運 動 の 種 別	実 施 期 間	活 動 内 容
不正改造車追放運動	6 月 1 日～ 6 月 30 日	機関誌・ポスター等の掲示
自動車点検整備推進運動	9 月 1 日～9 月 30 日	機関誌・ポスター等の掲示
自動車登録等 適正化推進運動	令和 8 年 3 月 1 日～3 月 31 日	機関誌・ポスター等の掲示
大型車車輪脱落 事故防止推進運動	通年	機関誌・ポスター等の掲示



自動車会館 1 階フロアにおける
「不正改造車を排除する運動」
展示状況

(3) 自動車盗難防止活動

機関誌に県内の犯罪発生状況を掲載し、広く防犯意識の高揚に努めた。

また、愛知県内では自動車の盗被害が多発し、令和 7 年度は 1,051 件（前年同期比プラス 185 件）で全国ワーストとなった。この状況を踏まえて、愛知県自動車盗難防止協議会の会員として、県警および協議会が作成した「自動車盗難防止ガイド」や「盗難防止緊急パンフレット」を活用し、自動車盗難防止意識の向上に取り組んだ。さらに、ジャパンモビリティショー名古屋などにおいて啓発活動を積極的に実施した。



ジャパンモビリティショー名古屋での啓発活動

第2 収益事業

自動車ユーザーへの利便供与を目的として、次の事業を実施した。

1 中部自動車共済協同組合の自動車共済契約の推進

昨今の急激な物価高騰や車両の高性能化による修理費の上昇、自然災害等を起因とする共済金支払額増加を踏まえ、安定した共済を提供する目的で1月に掛金改定を行ったが、任意共済の継続契約に伸び悩んだ。

その一方、新規自賠責代理店開拓「プロジェクトK」の目標は達成して自賠責共済は順調に推移した。

(1) 自賠責共済

区 分	令和7年度	令和6年度	対 前 年 比	
			増 減	増 減 率
契約件数	3,272 件	1,400 件	+ 1,872 件	+ 133.7%

(2) 任意共済

区 分	令和7年度	令和6年度	対 前 年 比	
			増 減	増減率
新規契約件数	397 件	370 件	+ 27 件	+ 7.2%
継続契約件数	6,410 件	6,453 件	- 43 件	- 0.6%
計	6,807 件	6,823 件	- 16 件	- 0.2%

2 愛知県自家用自動車事業協同組合受託業務の推進

各道路会社では利用者が料金割引を認識、実感できるような分かりやすくシンプルな料金体制を目指しているが、現在着手されている「深夜割引」「平日朝割引」についても具体的な進捗は見られず膠着状態となっている。

各組合員に現状を認識してもらえよう実効性のある助言を行い、2種類のカードの特性を説明して利用カードの選別を提案した。

- (1) ETC カード共同精算事業は、利用車両が限定される ETC コーポレートカードの「大口・多頻度割引制度」については、少額利用のカード切替を実施して24枚を UCETC カードに交換した。組合員数は2社増の150社となり利用者数は29社となった。

区 分	令和7年度	令和6年度	対 前 年 比	
			増 減	増減率
組 合 員 数	150 社	148 社	+2 社	+1.3%
内 大口・多頻度 利用者数	29 社	31 社	- 2 社	- 6.4%
発 行 カ ー ド 枚 数	365 枚	389 枚	-24 枚	- 6.1%
総 利 用 額	224,326,400 円	242,989,426 円	-18,663,026 円	- 7.6%
割引対象利用総額	136,384,718 円	147,082,512 円	-10,697,794 円	- 7.2%
総利用額の月間 平均利用額	18,693,866 円	20,249,118 円	- 1,555,252 円	- 7.6%

(2) 株式会社クレディセゾンとの提携による「マイレージ割引制度」に対応する UCETC カードについては、利用者は 150 社(員外含む)となった。

区 分	令和7年度	令和6年度	対 前 年 比	
			増 減	増減率
利 用 組 合 数	150 社	150 社	±0 社	±0%
発 行 カ ー ド 枚 数	2,216 枚	2,174 枚	+42 枚	+ 1.9%
総 利 用 額	365,527,660 円	351,880,250 円	+13,647,410 円	+3.8%
月間平均利用額	30,460,638 円	29,323,354 円	+1,137,284 円	+3.8%

別表



協力関係機関・団体			
団 体 名	役職等	団 体 名	役職等
(一社) 全国自家用自動車協会	会 長	中部自家用自動車協会連合会	理 事 長
愛知県交通安全推進協議会	実施機関	愛知県道路運送秩序確立委員会	参 与
(一財) 愛知県交通安全協会	常任理事	中部低公害車普及促進協議会地域部会	委 員
愛知県高速道路交通安全協議会	副 会 長	踏切事故防止推進協議会	委 員
(一社) 愛知県自動車会議所	理 事 等	愛知県自動車盗難防止等協議会	幹 事
同上協力団体 「二火会」	構 成 員	愛知県自動車点検整備推進協議会	委 員
中部自動車共済協同組合	理事長等	愛知県・名古屋市道路利用者会議	副会長等
愛知県自家用自動車事業協同組合	理事長等	名古屋商工会議所 自動車部会	相談役等

事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。